

報道関係各位

2022年5月2日
株式会社コロワイド

石油由来プラスチックのストローを全廃へ

石油由来プラスチック使用量、グループ全体で大幅削減見込む

株式会社コロワイド（本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:野尻公平、証券コード:7616）は、このたびグループ内の全業態における石油由来プラスチックストローの提供を全廃し、微生物の働きにより最終的には自然界へ還る性質を持つ「生分解性プラスチック」を使用したストロー（以下、生分解性ストロー）への切り替えを全店で行うこととなりましたのでお知らせいたします。



コロワイドグループでは、今年4月の「プラスチック資源環境促進法（以下、脱プラ新法）」施行にさきがけて、ストローの使用ついて、都度、お客さまにご利用の意思を確認するなど提供方法の工夫を行うとともに、生分解性ストローへの切り替えなど製品の工夫も順次進めてきました。今回の発表は、脱プラ新法により特定プラスチック使用の合理化が求められるなか、当グループで唯一、特定プラスチック使用製品を年間5トン以上提供している株式会社レインズインターナショナル*1（本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:澄川浩太）において、新規出荷分*2から生分解性ストローへの全量切り替えが行われたことを受けたものです。

特定プラスチック使用製品の適用量の内、当グループ全体の石油由来のプラスチック使用量は2020年度（2021年3月期）実績の28.5tから、2021年度には19.1tへと33%の削減を達成、今年度には更に削減を進め、3.9tと対前年度比で約8割の大幅減を見込んでおります。（表1）

今回の発表を機に、当社代表取締役社長の野尻は次の通りコメントしています。

「気候変動対策、海洋環境保全の観点からも脱プラの取組みは“待ったなし”との認識です。すでにフレッシュネスバーガー全店では、生分解性素材をフォーク、スプーンへも拡大し、木製マドラーの導入も実施しました。今後もこうした取組みを着実に積み重ねることで、当グループとして2023年度までに特定プラスチック5品目^{*3}の全量を環境配慮型商品^{*4}に切り替えてまいります。」

当社は、「地球環境への貢献」を自社にとっての重要課題（マテリアリティ）として特定しております。海洋プラスチックごみに象徴されるプラスチック処理と地球環境への影響が問題となる中、引き続き事業活動で使用するプラスチック製品の使用の合理化を進め、「地球環境への貢献」に努めてまいります。

以上

(単位：トン)

| 特定プラ使用製品の適用量 | 2020年度 | 2021年度 | | 2022年度 | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 実績 | 実績 | Y/Y(%) | 見込み | Y/Y(%) |
| ※バイオプラスチック | 4.9 | 8.0 | 63 | 9.1 | 14 |
| 石油由来プラ使用量 | 28.5 | 19.1 | ▲ 33 | 3.9 | ▲ 80 |
| 計 | 33.4 | 27.1 | ▲ 19 | 13.0 | ▲ 52 |

※バイオマスプラスチック＋生分解性プラスチック

*1 レインズインターナショナル：

「牛角」「しゃぶしゃぶ温野菜」「土間土間」「FRESHNESS BURGER」など、国内外で直営およびFCの飲食店を運営。2012年よりコロワイドグループ傘下。 <https://www.reins.co.jp/>

*2 店舗提供分については既存の店頭在庫がなくなり次第切り替えを実施

*3 特定プラスチック5品目：

ストロー、スプーン、ナイフ、フォーク、マドラー

*4 環境配慮型商品：

環境負荷の小さいバイオマスプラスチック、生分解性プラスチック、木製、紙製製品など

【報道関係の方からのお問い合わせ】

株式会社コロワイド 広報部、またはサステナビリティ推進室

電話：045-274-5994/E-mail：sasutena@colowide.co.jp